



校外学習 無事終了！

校外学習前日までの大雨が上がり、当日は最高の校外学習日和になりました。また、生徒たちは時間通りに集合し、幸先がいいスタートとなりました。

一つ目の「タコロン色塗り体験」では、南三陸町やタコロン誕生の動画を見てから活動を始めました。陶器のタコロンにポスカで色塗りをしましたが、細かい部分はつまようじを使って作業する場面もあり、生徒たちは集中して取り組んでいました。生徒各自のアイデアがすばらしく、世界にたった一つのすてきなタコロンができ上がりました。9月に行われる学習文化発表会で展示する予定ですので、どうぞ楽しみに。

二つ目の「語り部バス研修」では、南三陸さんさん商店街から防災庁舎までの道のりや、防災庁舎前でお話を聞いたあと、バスに乗って津波の被害に遭った戸倉小学校等を巡りました。語り部さんは南三陸町で被災した方々でしたので、心が痛むお話もありましたが、生徒たちは事前学習で学んだことをもとに、防災に関する意識を高めることができました。

三つ目の「南三陸さんさん商店街」での散策は、スイーツを食べたり、おみやげを買ったりと、本当に幸せそうな生徒の笑顔が印象的でした。

校外学習では、学習する場面と楽しむ場面のメリハリをつけながら、有意義な時間を過ごせたと思います。また、一日を通して時間やマナーを意識する行動や班活動の中でお互いを思いやるシーンが見られ、生徒たちが成長できた一日になりました。現在、まとめ学習として個人新聞を作成中ですので、仕上がりが楽しみです。保護者の皆様には、朝早くからお弁当を準備し、送り出していただきましたことに、感謝申し上げます。ありがとうございました。



～解団式で発表した代表生徒の感想を紹介します～

僕が南三陸に行って学んだことは、津波の恐ろしさです。実際に津波を経験したことはないけれど、南三陸防災庁舎などを見て、津波はやはり恐ろしいと思いました。これを踏まえて、日常でも自分の想像を超える震災に備えて生活していきましょう。
(1組 G.K.)

今回の校外学習で印象に残ったのは、語り部さんのお話です。実際に震災を経験された方の言葉は、一つ一つとても重みのあるものでした。その中でも特に防災庁舎を取り壊すべきか保存すべきか、地元でも意見が分かれたという話が心に残りました。震災から13年たった今も、当時の記憶や感じた思いをどのように未来につなげていくかを地域の方が熱心に話し合い、南三陸をこれからどのよう

な町にしていきたいかを考えていらっしやることを知りました。震災から立ち上がった人々の強さや、これからも町を良くしていきたいという熱い思いを感じ、悲しい記憶を悲しいままにせず、未来にどのようにつなげていくかが大事なのだということ学びました。
(2組 S.S.)

僕が今回の校外学習を通して感じたことは、いくつかあります。まず初めに震災のことです。語り部の方の話を聞いて、改めて津波の恐ろしさを知りました。僕たちは、震災のときにはまだ生まれていなかったのに、テレビの映像でしか見たことがありませんでしたが、実際に被害にあった建物を前にして言葉が出ませんでした。南三陸の町は震災の経験を生かした町づくりをしていることも知り、悲しいことだけではなく、未来へと歩み続けていることを知ることができました。次に、オクトパス君の絵付けです。皆それぞれの個性があって、おもしろかったです。この校外学習は、これから大人になっていく僕たちにとっても意義のある一日になりました。
(3組 I.A.)

私が南三陸町での校外学習で心に残ったことは、語り部バス研修です。震災で家族を亡くした語り部さんから、避難時の的確な判断の重要性を、様々なエピソードから学びました。たとえば、ある学校では、そこはもともと避難所でしたが、地震の大きさから油断せずにより高い場所へ逃げたおかげで、たくさんの命が助かったそうです。また、復興の状況についても話を伺いました。大きな被害を受けた地域の今後を守るために埋め立てを行い、8mも地面を上げたという話や、海辺に必ずと言っていいほどある約10mの防波堤から、地域の方々の復興に対する苦勞と決意が感じられました。

私は今年仙台に来たばかりなので、震災をあまり自分事と考えたことがありませんでしたが、これからは仙台市民の一員として、震災について真剣に考え、他の人にもこのことを伝えていきたいです。
(4組 H.M.)

中学校生活最初の大きなイベント。僕はこの日を楽しみにしていました。南三陸で心に残ったことは、語り部さんの話と僕が見た海です。あんなに美しい海が震災のときに黒い津波となって襲ってきたと思うと、恐ろしくなりました。それから、みんなのタコロンは色とりどりで個性的でした。これからも夢に向かって、それぞれが進んでいけるといいなと思いました。
(5組 S.E.)

私は校外学習を通して、南三陸町の東日本大震災による被害や、地震が起こったときに大切なことなどについて学びました。語り部さんの話のように、自然災害はいつ起こるのかわからないので、日ごろから備えておき、経験された方の話を大事にしたいです。私たちの身の回りには、東日本大震災の被害を直接受けた人がたくさんいるので、東日本大震災を忘れずに後世に伝えていきたいと改めて思いました。また、語り部さんや先生方、地域の方々の協力によって多くのことを学べたことに感謝しつつ、今回の校外学習をきっかけに、今自分たちにできることや命の大切さについて、改めて考え直したいと思いました。(6組 A.K.)

